

2016年度（第31回）レーザ安全スクールを実施

当協会は、第31回レーザ安全スクール第1期を2016年10月3日～7日、第2期を11月7日～11日に東京・芝公園の機械振興会館にて実施した。

本スクールはレーザ機器の普及に伴う機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するため、1983年に「レーザ機器導入・安全取扱い講習会」としてスタートし、時代の変遷に伴い「レーザスクール」、「レーザ安全スクール」と改称し、本年度「レーザ安全スクール」として31回目となった。この間、内容も日本工業規格であるJIS C 6802「レーザ製品の安全基準」および関連する個別規格の改正に対応した見直しを行うことで、最新の日本工業規格および厚生労働省・基発第0325002号「レーザー光線による障害の防止対策について」等を網羅し、光加工、光通信、レーザ医療等の各分野に従事するレーザ機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するために最新の規格に対応する内容とし、社会の要請に応えるものとした。

受講者数を各コース別に下表に示す。第1期と第2期との合計で受講者のべ人数は641名（昨年631名）と、昨年より若干の増加となった。一方で、複数コース受講者を1名とカウントした場合の参加人数は330名（昨年287名）、参加企業数は153社（昨年141社）といずれもここ4年で大きく増加し、レーザ製品の種類と利用者のすそ野が年々広がり続けていることがうかがわれる。

レーザ安全スクール コース別受講者数（単位：名）

コース名	第1期	第2期	合計
Iコース：光・レーザ入門	54	—	54
S1コース：レーザ工学の基礎	27	68	95
S2コース：レーザ安全の基礎	91	139	230
S3コース：レーザ応用機器の安全	24	53	77
S4コース：大出力レーザ機器の安全	27	64	91
M1コース：レーザ安全管理者	53	—	53
M2コース：レーザ安全技術者	—	41	41
合計	276	365	641

